

## 2021年度 製薬協コミュニケーションプランについて

日本製薬工業協会  
広報委員会

## 1. 企画意図

製薬協広報委員会では、2021年秋にリニューアルした製薬協ウェブサイトやSNS公式アカウントなどのデジタルメディアを活用し、ステークホルダーの方々との対話を意識したより積極的なパブリシティ施策を企画、展開しています。本プランの展開により、新薬や製薬産業に関する情報を様々な切り口で発信し、「健康寿命の延伸に対する貢献」という新薬が持つ大きな社会的価値を国民の皆さんに身近に感じていただくことを目的としています。

## 2. パブリシティ施策の概要

## ①学生を対象にした「製薬産業体験発見プロジェクト」(2月21日より順次公開)

学生団体と共同で、オンラインの聴講型セミナーと交流会やワークショップを組み合わせたプログラムを提供することにより、若年層の皆さんに、製薬産業への理解を深め、将来の産業従事への意識を持つきっかけとしていただくことを目的に実施しています。本プロジェクトは3つのプログラムから構成されており、本日、その最初のプログラムである「聴講型セミナー」を製薬協ウェブサイトにて一般公開しました。

特設サイト：<https://www.jpma.or.jp/lp/>

## ②YouTube 動画：新薬の価値を伝える「薬学生あおいと学ぶ 新薬イノベーション」

(第1回～第4回は公開済、第5回～第8回を3月上旬に公開予定)

薬学生「あおい」を主人公とした動画を制作し、製薬協のYouTubeチャンネルより配信しています。「感染症の予防・治療」「心血管病」「ぜんそく」などの身近な疾患を取り上げ、新薬の登場(創薬イノベーション)が疾患の治療や人々の健康に貢献してきたことを、広く国民の皆さんにお伝えする内容です。

特設サイト：<https://www.jpma.or.jp/lp/aoi/>

## ③Tokyo グラフィティとのタイアップ「デジタルムック」(3月初旬公開予定)

若者向けカルチャー誌「Tokyo グラフィティ」とタイアップし、「新薬に期待すること」の声を集めたデジタルムックを制作しました。また、日本の製薬産業に関するデータや情報をイラストやグラフを活用してわかりやすく伝えたり、AI創薬やビッグデータなど製薬業界の最新の話題についても解説しています。

パブリシティ施策は、製薬協ウェブサイトで公開すると共に、2022年1月に開設した「製薬協 Twitter 公式アカウント」(<https://twitter.com/Seiyakukyou>)も活用し、イベントの開催レポートやニュースを発信していきます。

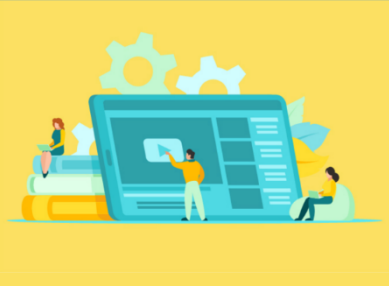
各施策展開イメージ

① 学生を対象にした「製薬産業体験発見プロジェクト」

特設サイト：<https://www.jpma.or.jp/lp/>

### First stage

DAY1：2022年1月21日（金）  
DAY2：2022年1月28日（金）  
2日とも、13:00～配信



#### 製薬産業、製薬企業の仕事について知る、学ぶ

#### 「聴講型リモート・セミナー」

製薬産業に関わる実務家や顧客である医師を始めとする医療従事者、患者からのレクチャー

Ex.

- ・製薬産業について
- ・製薬企業の仕事

「製剤研究」「安全研究」「臨床開発」「生産/品質」  
「MR/MSL」「PV/市場調査」「その他（国際/薬事等）」

- ・製薬企業の顧客 ① 専門医② 臨床医
- ・エンドユーザー ① 患者中間団体② 患者

② YouTube 動画：新薬の価値を伝える「薬学生あおいと学ぶ 新薬イノベーション」

特設サイト：<https://www.jpma.or.jp/lp/aoi/>



#2 【感染症治療薬】って何がすごいの？

何と、100年前まで感染症の治療薬はこの世になかった!?

「気になる新型コロナの最新治療法を教えて!」「抗生物質はウイルスに効かないってホント?」「専門家も恐れる“薬剤耐性”って何?」……感染症治療のエキスパート・大曲貴夫先生に教えてもらいました!

③ Tokyo グラフィティとのタイアップ「デジタルムック」(3月公開予定)



国	生産額 (億ドル)
中国	47.8
インド	15.0
日本	8.0

紙面イメージ

以上